

令和元年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	よなご未利用エネルギー活用事業	
補助事業者名	米子市	
補助事業の概要	下水処理場において、汚泥の処理過程で消化ガスが発生しているが、その消化ガスは、現状では消化槽の加温のためのボイラー燃料として使用し、余ったものを廃棄している。この余剰ガスは当地域の未利用エネルギーであり、これを有効利用して発電を行う。また、新たな再エネ電源として、公民館 4 館に P V（太陽光発電）を設置する。これらにより作られた電気を、公民館に設置する蓄電池に充電し、災害時の非常用電源として活用するだけでなく、平常時には V P P（Virtual Power Plant：仮想発電所）として活用することで地域への波及効果を生み出す。 本年度は、事業可能性調査を実施した。	
総事業費	41,917,500 円	
補助金充当額	41,917,500 円	
定量的目標	効率的な施工方針を決定し、翌年度の円滑な設備設置につなげる。 令和 3 年度の設備稼働後の中長期的目標として、発電及び蓄電による経済的波及効果 15,753 千円／年、新規雇用 2 名等も設定。	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	事業検討を行うにあたり、米子市、大学、各分野の関連企業、国、県で事業検討委員会を構成し、全 3 回の協議を行った。委員会において、導入する設備の台数や運用方法等の議論を行い、そこで出された意見をもとに、最大限の効果を生み出すスキームを検討した結果、事業性有り判断するとともに、翌年度の円滑な設備設置における効率的な施工方針を決定することができた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約の目的	事業性の可否等について専門的知見のある事業者に委託するため
	契約の方法	随意契約（プロポーザル方式による公募）
	契約の相手方	ローカルエナジー株式会社
	契約金額	41,917,500 円
来年度以降の事業見通し	令和 2 年度に、ローカルエナジー(株)との連携事業として、下水道処理場へマイクロガスエンジン 2 基設置、4 公民館への P V 設置、13 公民館への蓄電池設置、V P P システムの構築を行う。 全ての設備の設置後、試運転を経て、令和 3 年度以降には運用を開始する。	